ドイツの雑貨やグルメなどが並ぶ「ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo2011」
【開催期間】12月24日（土）まで【開催時間】平日11時00分～21時00分（金曜および22日は21時30分まで）、土曜11時00分～21時30分、日・祝日11時00分～21時00分【会場】メーン会場：札幌市中央区・大通公園8丁目「さっぽろホワイトイルミネーション」会場、サテライト会場：札幌駅前通地下歩行空間

色とりどりの雅飾で彩られた
「あさひかわ街あかりイルミネーション」
【開催期間】2012年2月18日（水）まで【開催時間】16時30分～22時00分【会場】平和通買物公園、緑橋通、旭岳通、加藤通

まばゆい光と花火に包まれる
「はこだてクリスマスファンタジー」
【開催期間】12月25日（日）まで【開催時間】16時00分～22時00分【会場】函館市末広町

Vol.4
どうしん夢プロジェクト

サンタ捜索チーム 道内各地で調査

「サンタクロースの情報を教えてください――」。どうしんサンタ捜索チームは12月10、11日の2日間、道内各地で開催されているクリスマス関連イベントで来場客らに聞き込み調査を実施し、多数の目撃情報などを入手した。捜索メンバーは「聖夜の北海道にサンタクロースが現れる可能性は高い」と自信を見せる。

捜索したのは、札幌市の「ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo2011」と旭川市の「あさひかわ街あかりイルミネーション」、函館市「はこだてクリスマスファンタジー」（各実行委員会主催）の3カ所。メンバーらは寒空の中、一人一人丁寧に聞き回った。

「ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo2011」は、札幌の姉妹都市ドイツ・ミュンヘンのクリスマス市を再現したイベントだ。ドイツのオーナメントや人形などクリスマス関連グッズの他、ソーセージやホットワインといった本場ドイツさながらの味覚や雰囲気が楽しめるとあって人気の催事だ。

■動物園で目撃例

協力者を含め約20人のメンバーが、正午から約9時間、メーン会場の大通公園2丁目に加えて、今年3月に新設された「札幌駅前通地下歩行空間」の2カ所で、目撃場所や時間などを聞いた。

「テレビ塔上空でサンタらしき人影を見た」など、捜索チームの情報と合致する情報のほか、「円山動物園で見た」という新たな目撃情報も入手した。

■旭川は駅付近

一方、旭川では「あさひかわ街あかりイルミネーション」で捜査。買物公園や緑橋通などの4カ所の会場付近で情報を収集した。

各会場はテーマの異なるイルミネーションで彩られており、ロマンチックなムード一色だが、気温は肌を刺すような氷点下五度。捜索チームのメンバーは、体を小刻みに動かし、白い息を吐きながら、交場者に質問した。

その中で尋ねた「昨年の聖夜にトナカイを旭川駅付近で見た」という目撃情報は、メンバーの心を明るくした。

■函館はベイエリア

函館の捜索対象となったのは函館港の赤レンガ倉庫群。現在開催中の「はこだてクリスマスファンタジー」のメーン会場だ。

会場で注目を集めるのは、姉妹都市カナダ・ハリファクス市から贈られた高さ20mの巨大なモミの木だ。約5万個の電飾で美しく輝いている。

メンバーは、観光客や地元住民らから「ベイエリア付近でサンタらしき飛行体」の目撃情報を入手した。ただ、イルミネーションとの見間違いの疑いもあるため、同チームでは慎重に調査を重ねる方針だ。

確かな手応え

今回の捜索は、各チーム5人編成で、3チーム計15人のメンバーが分散して行われた。札幌以外の場所での捜索は、チーム発足後初の試み。メンバーの一人は調査の趣旨として、クリスマスイベントに目撃情報が集中しており「聖夜にはサンタの姿を確実に確認するため」と話す。クリスマスまで約1週間と迫り「集めた情報を整理して今年は満足できる成果を報告したい」と付け加えた。

同チームでは、今後メンバーを増強し、30人体制にすることを検討している。旭川・函館以外の地域でも同様の捜査を実施する考えだ。

メンバーは「調査を重ねる中で、クリスマスの北海道にサンタが来ていると感じた。最後まで奇跡を信じ、これからも追求したい」と決意を新たにした。

クリスマスプレゼントの歴史

ミカンや農作物が原点

クリスマスの楽しみの一つがプレゼント。聖夜にサンタクロースから届くもののほかに、クリスマスパーティーで友人や家族で交換するものがある。なぜプレゼントが交換されるようになったのかは、その歴史をひもとくことで明らかになった。

日本で初めてのクリスマスパーティーが開かれたのは1552年。キリスト生誕を祝うために宣教師と信者が教会に集まり、自分の畑で収穫したミカンなどの農作物を交換したという。これが日本でのクリスマスにおけるプレゼント交換の始まりといわれている。

この習慣が本格化したのは明治時代。東京・銀座のデパートには、宣伝効果を狙ってクリスマスツリーが飾られ話題を呼んだ。明治後期には「クリスマス商戦」がスタートし、大正時代になるとすっかり定着した。第2次世界大戦後には、長靴型のケースにお菓子を詰め込んだクリスマスブーツが人気を集めた。

現在では、子どもたちが欲しいクリスプレゼントの第一位はおもちゃ。大人同士で贈り合うのはアクセサリーなどの装飾品が多い。

時代が変わっても、「大切な人に喜ばれるものを」という気持ちは同じ。手渡した瞬間のあの人の笑顔を思い浮かべながら、今年もプレゼント探しを楽しんでみてはいかがだろう。

思い出深い1日を

親子に質問「クリスマスの過ごし方」

クリスマスまであとわずか。色鮮やかにともるイルミネーションや、にぎやかな音楽にワクワクしている子どもたちも多いはず。どうしんサンタ捜索チームは、札幌市子ども未来局・子育て支援部東区保育・子育て支援センター「ちあふる・ひがし」で、最近のクリスマスの過ごし方について取材した。

「フライドチキンとケーキを用意するのが、わが家のクリスマスの定番」と頬す小路三幾子さん・夕莉さん親子

東区の小路三幾子（しょうじ・みちこ）さんと夕莉（ゆり）さん（6歳）親子は、12月に入ると室内にクリスマスツリーを飾り、サンタさんへ書いた手紙をツリーに取り付け、クリスマスが来るのを待つという。

「クリスマスの朝、娘は枕元の靴下にサンタさんからのプレゼントを見つけ、私の所に走ってきます。興奮する子どもたちの表情を見ると幸せを感じますね」とにっこり。

西区の田中華子（たなか・はなこ）さんは、子供のころの思い出を振り返りながら、親子で一緒に楽しむことを心掛ける。

息子の真次郎（しんじろう）君（5歳）は、サンタクロースの存在について「サンタさんはいる」と信じている子どもの所へ来てくれるよ」と華子さんの言葉を信じていて、華子さんは「こんなすてきな親子の時間をいつまでも持っていたいですね」と目を細める。

一家だんらんの機会に

長子どもたちは、サンタに握手を求めたり抱き付いたりと大はしゃぎだが、帰り際には「今度はいつ来るの」と涙を浮かべて別れを悲しむ子どもの姿も多いという。

三浦園長はクリスマスの意義について「サンタクロースという特別な存在に、夢や希望を重ねることが、子どもたちの心を育むことにつながっています」と考える。

また、クリスマスプレゼントについて「欠かせないアクセントかもしれませんが、プレゼントより家族だんらんの機会にしてほしい」と思いを明かす一方、「子どもたちの笑顔が、保護者とわれわれ職員への最高のプレゼント」と締めた。

どうしん夢プロジェクト 広告企画

「クリスマスは特別なイベント」と語る田中華子さん・真次郎くん（5歳）親子

ワンポイントで「華やか顔」に

お勧めクリスマスメーク術を聞く

横山美和（よこやま・みわ）さん
札幌市出身。メークアップアーティスト。「Thanks Giving Make Up」代表。札幌を拠点にメークイベントの企画や雑誌、メディアでの撮影用メークなど幅広い分野で活躍。全国各地を回る「MAKE UP TOUR」や講師活動など、女性のトータルビューティーを応援している。

イルミネーションや音楽などで街全体がにぎわうクリスマスは、女性たちも、普段とは違うファッションやメークに身を包み、特別な一日をより美しく彩る。そんな女性たちにより輝いてもらおうと、札幌を拠点に国内外で活躍するメークアップアーティスト・横山美和さんに、クリスマスに合うメーク術を聞いた。

横山さんが勧める今年のイチ押しは、ラメやパール素材のアイテムで目元や口元を引き立たせる〝ポイントメーク〟だ。

目元には、ラメ入りのアイシャドーやアイライナーを塗ったり、口紅はパール入りのリップグロスを重ねたりすると、顔に立体感が生まれ、ラメのキラキラが際立つという。

化粧品メーカー各社は、この時期に合わせ、キラキラアイテムの新商品を発売している。若い人も購入しやすい低価格商品も充実しており、普段のメークアイテムに加える手軽さも魅力だ。

ラメやパールの素材が苦手な人は、チークを少し濃く、口紅を普段より強めの色にすることで「華やかな印象を与えることができる」そう。

ただし、注意しなくてはいけないのは、ベースや他の部分のメークを締める点。全体的に濃いメークになると、不快感を与えるケースもあり「華やかさと行き過ぎたメークを混同しないよう〝引き算〟が大切ですね」。

メークの力を信じて

横山さんの元には、横山さんがメークした人たちから感謝の言葉を記したメッセージが多く届くという。

横山さんは「メークには、メークする人はもちろん、見る人も幸せにする不思議な力がある」と信じ、「普段しない人も今年はメークを楽しんでほしい。私も多くの人をすてきに仕上げたいですね」と語る。

横山さんは19日から23日の5日間、札幌駅前通地下歩行空間で行われるイベント「ミワヨコヤマ メークアップツアー クリスマス スペシャルエディション〝ファンタジア〟（北都道コカ・コーラボトリング㈱主催）で、クリスマスをテーマとしたメークを行う。参加無料、メーク受け付けは正午～午後8時。予約は不要。

企画制作／北海道新聞社広告局
この広告企画はお子さまと楽しんでいただくため、夢のある構成となっています。フィクションを多く含みますがご理解、ご了承願います。次回は12月17日朝刊予定

（C）北海道新聞社　無断転載、複製及び頒布は禁止します。